

科目名 オホーツク水圏環境学特論実験(二) (2単位)

担当者氏名 小林万里、金岩稔

◆学習・教育目標

海の高次捕食者である海生哺乳類や魚類についての研究をするにあたって、目標に即した野外調査研究計画、野外調査から得られる試料の分析方法や技術の習得、並びにそこから得られたデータの解析方法およびその解釈力を身につけさせる。

◆取り扱う領域（キーワードで記載）

| | | | |
|-------|-------|--------|----|
| 海生哺乳類 | 魚類 | 野外調査計画 | 分析 |
| データ解析 | データ解釈 | | |

◆授業の進行等について（単位制度に基づく授業の進行予定・内容）

| 回数 | テーマ | 内容 | 授業のねらいまたは準備しておく事項 |
|--------|----------|--|----------------------------|
| 1回 | 野外調査計画 | 研究の目的に対しての野外調査計画を立て方についての注意点や考慮すべき項目を挙げ、各自野外調査計画を立ててもらう。 | 研究の目的にあった調査計画を立案することを習得する。 |
| 2～12回 | 分析方法の習得 | 野外からの試料の処理の仕方、一般的な方法を習得することを目的に、実際に処理を体験する。 | 試料の処理方法について、一般的な方法を習得する。 |
| 13～15回 | データ解析・解釈 | 得られたデータの解析方法およびその解釈について習得する。 | データの解析方法とその解釈について習得する。 |

◆教科書及び資料（授業前に読んでおくべき本・資料）

書名／著者／発行所（発行年）

適宜、試料などを配布する。

◆授業をより良く理解するのに便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所（発行年）

◆評価の方法（レポート・小テスト・定期試験・課題等のウェイト）

出席、レポートで評価する。

◆その他受講上の注意事項
